

家計に例えると… 令和5年度決算を月収30万円の家計に変換

町税や使用料、諸収入は家計でいうところの「給与」にあたります。

支出のもっとも多くを占めるのが、医療、教育費、保険料にあたる扶助費や補助金などです。

また、翌月への持ち越し（繰越金）が出ており、収入の範囲で支出のやりくりができていくことが分かります。



収入		支出	
給与 (町税、使用料、諸収入等)	8.2万円 (27.5%)	食費 (給与等人件費)	3.8万円 (12.9%)
預金の取り崩し (繰入金)	3.3万円 (10.9%)	医療、教育費、保険料 (扶助費や補助金等)	10.5万円 (35.9%)
前月からの持ち越し (繰越金)	1.0万円 (3.4%)	光熱水費、通信料 (物件費)	3.9万円 (13.4%)
親からの仕送り (地方交付税、国庫支出金等)	13.7万円 (45.7%)	子どもへの仕送り (特別会計への支出)	1.6万円 (5.6%)
銀行からの借り入れ	3.8万円 (12.5%)	ローンの返済 (公債費)	1.8万円 (6.3%)
収入合計	30万円	家の修繕 (普通建設事業費等)	7.0万円 (23.9%)
		預金(積立金)	0.6万円 (2.0%)
		支出合計	29.2万円
		翌月への持ち越し (繰越金)	0.8万円

財政健全化判断比率 鏡石町の財政状況は「健全」

指標	内容	結果	早期健全化基準
①実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15.00%
②連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	20.00%
③実質公債費比率	町の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	9.6%	25.0%
④将来負担比率	町の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	100.6%	350.0%

国は地方公共団体の財政破綻を早期の段階で回避するため、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を定めています。町の財政が状況については、早期健全化基準を下回っており、鏡石町の財政は健全といえます。

令和6年度各会計現計予算状況

会計区分	予算現計	
一般会計	69億5,596万円	
国民健康保険特別会計	13億2,932万円	
後期高齢者医療特別会計	1億4,533万円	
介護保険特別会計	12億1,843万円	
土地取得事業特別会計	10万円	
工業団地事業特別会計	4,537万円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億3,430万円	
育英資金貸付費特別会計	563万円	
小計	98億3,444万円	
上水道事業会計	収益的	9億3,871万円
	資本的	2億1,980万円
下水道事業会計	計	11億5,851万円
	収益的	4億1,466万円
計	資本的	4億1,305万円
	計	8億2,771万円
合計	118億2,066万円	

令和6年度 上半期予算状況

令和6年度一般会計予算については、昨年度の同時期を4億81万円の増加、69億5,596万円と、引き続き大規模な予算額となっています。

主な内容としては、成田遊水地整備対策の推進11億3,111万円、鳥見山陸上競技場改修事業2億4,538万円、健康まちづくり事業1億5,333万円、新都市交通



かがみいし健康ウォーキング

ネットワークの整備促進2億1,000万円、子育て・少子化対策事業2億2,860万円を計上しています。特別会計の状況については、別表のとおりです。

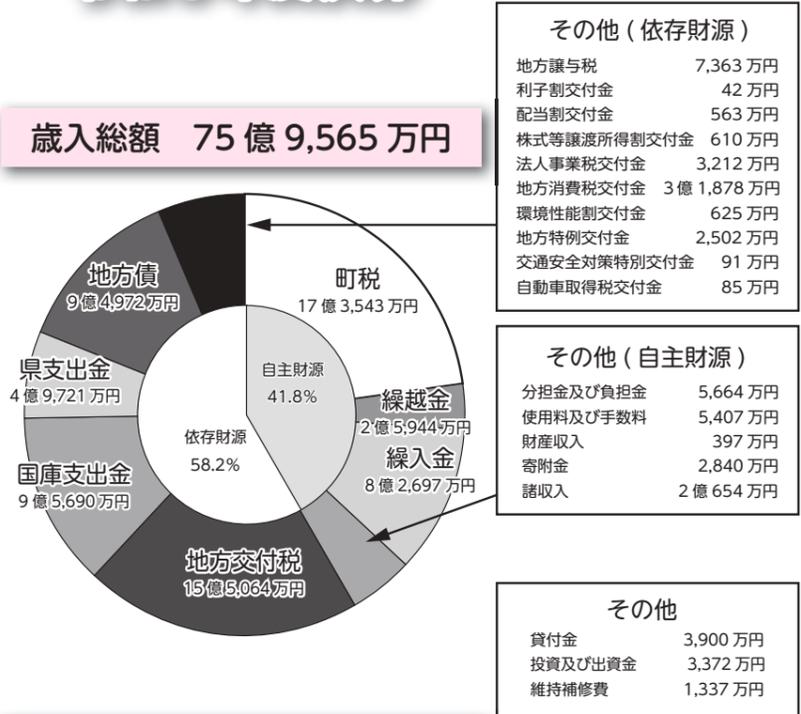
今月号では、鏡石町財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、令和6年度上半期の予算状況及び9月定例議会で認定された令和5年度決算の内容について一般会計を中心にお知らせします。

※財政情報は、町ホームページで見ることができます。アクセスは、下記URL、もしくは右のQRコードよりお願いします。
【URL】 <https://www.town.kagamiishi.fukushima.jp/kurashi/chousei/zaisei/008293.html>

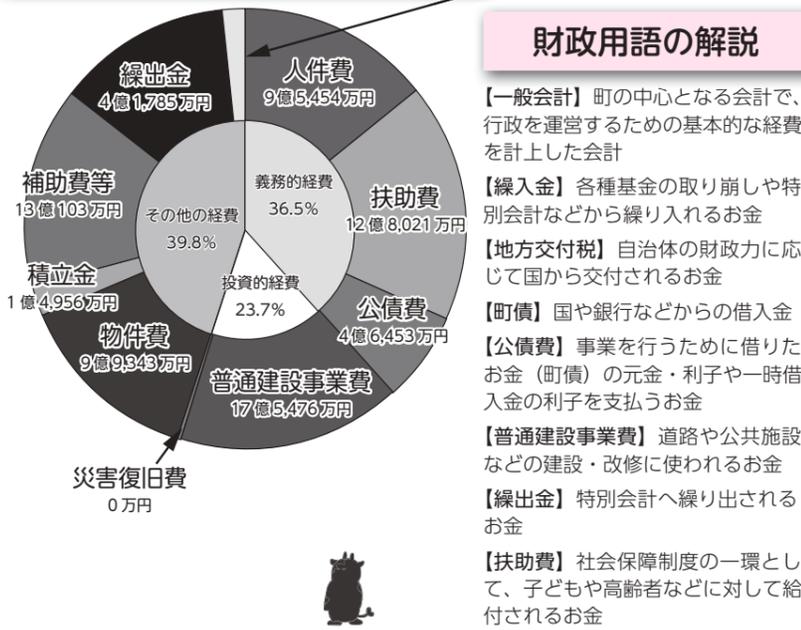


令和6年度 財政公表

令和5年度決算



歳出総額 74億200万円



【歳入】令和5年度の歳入決算額は、75億9,565万円で、前年度決算額と比べると6億7,152万円の増加となりました。

歳入の主な内容は、町民の皆さんが納められた町税が、前年度と比べて4億5,799万円増加し、17億3,543万円となり、歳入全体の22.8%を占めています。

一方、国から交付される地方交付税については、特別交付税が減少したこと等により、地方交付税全体額では前年度に比べ1億2,741万円減少し、15億5,064万円となりました。

また、国庫支出金については、第二小学校整備事業の減などにより、前年度と比べて1億9,294万円減少し、9億5,690万円となりました。

【歳出】令和5年度の歳出決算額は、74億2,000万円で、前年度決算額と比べると7億3,732万円の増加となりました。

歳出の主な内容は、健康福祉センター建設事業8億1,608万円、低所得世帯価格高騰重点支援給付金、1億1,600万円、鳥見山陸上競技場トラック改修2億6,895万円等となっています。

歳出を性質別に分類すると、扶助費が低所得世帯支援価格高騰重点支援給付金の増等により1億6,848万円増加し、12億8,021万円となりました。

また、普通建設事業費は、健康福祉センター建設事業等の歳出額が増額となり、前年度より6億6,488万円増加し、17億5,476万円となりました。